

文芸ひろば

詠歌の紹介

千代田短歌会

義父逝きて五十四年が過ぎ去りぬ花を捧げたり父の日の今日
時をかけ身に合ふサブリメントの定まりて体と和歌に余生を托す
夏越前の茅の輪飾りの時に会いぬ六人がかり頭上に掲ぐ
千年の公孫樹の古木に真向かふに自づからなる畏怖を覚ゆる

宮本 和子
目黒しづ子
大 西 周
遠藤 富重

出島短歌会

耳さどく「チアア」は足音聞きわけて迎へることに異なる甘い声
友どちの大方夫を逝かしめて片輪の余生如何に生きなむ
真夜中の静もる中を救急車乗っているのはどこの人やら

小室 貞江
飯島ヒロエ
名倉 靨子

投稿作品

独り居の部屋に射しくる木漏れ日に秋の気配は漫に寂し
中也の詩口吟みつづ着る事はない亡夫のシャツのボタン確かむ

沽野はつ子
菅谷 味子

▼投稿作品(俳句・短歌・川柳)を募集しています。11月8日(日)までに秘書広聴課へお願いします。

文化協会加盟団体紹介

かすみがうら FD (フォークダンス)

今年、水曜日のサークルが発足 30 周年になり、記念パーティーを開催しました。年齢とともにどこかしら痛かったりしますが、無理をせず楽しみながら踊っています。40 周年 50 周年目指していきたいと思っています。

大塚ふれあいセンター

▶ 毎週 19:00 ~ 21:00

勤労青少年ホーム

▶ 毎週 10:00 ~ 12:00

▶ 第 1.3 回 9:30 ~ 11:30

あじさい館

▶ 毎週 9:30 ~ 11:30

働く女性の家

▶ 第 2.4 回 9:30 ~ 11:30

代表 久保田ゆう子

市民学芸員雑記帳

宍倉地区には、600 年を経ても堀跡の形を留め、本丸跡を望むことができる宍倉城跡があります。その宍倉城主「菅谷」氏と土浦市「菅谷」町の地名との関係性について紹介します。今から約 550 年前、小田 14 代城主政治が領内の菅谷(土浦市)で狩を楽しみ、近くの寺で休んでいました。庭には可憐な花が咲いていたので、政治は懐紙を取り出して歌を詠もうと縁側に立ちました。そこに居合わせた法師が庭に降り、懐から硯を取り出し、ききょうの花の露を取って墨をすり、差し出しました。政治はその機転に感心して、その法師を小田の幕下に取り立てることにしました。摂津(兵庫県)出身者であった法師は還俗して武士となり、菅谷原でめぐり合った縁に、氏を菅谷、名を貞次としました。貞次はやがて宍倉城を任せられ、小田氏のために忠誠をつくしたそうです。(根食光男)



【まちを彩る文化の祭典】

生涯学習フェスティバル & 文化協会祭

生涯学習フェスティバル&文化協会祭が 10 月 4 日から 6 日の 3 日間、あじさい館で開催され、展示や体験、舞台発表を通して生涯学習への理解を深めました。体験では、風車や竹とんぼなどのおもちゃづくりコーナーがあり、親子連れが仲良く取り組む様子が見られ、ステージ発表では、各団体の発表に、大きな拍手が送られていました。生涯にわたり学び・学習の活動が続けることは、生きがいづくりのひとつ。生涯にわたる学ぶ喜びを見つけ、皆さんの日々の生活がより一層充実したものになることを期待しています。



▲屋外ステージでは、10 団体が登場。フィナーレを飾ったよさこいソーランの躍動的な踊りは、会場を盛り上げてくれました。



▼作品展示に 25 団体、体験・販売・啓発では 16 団体がこれまで取り組んできた学習成果を発表しました。



◀ステージ発表では、12 団体がコーラスや楽器演奏、舞踊、朗読などを披露しました。



切り絵体験をした子どもたちも「難しいところもあったけど、素敵な切り絵ができました」と笑顔で話してくれました。